

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 POCCOかみいしだ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0	・事業所が複雑な形になっているため、活動内容に合わせて活動場所を変え、危険がないよう配慮している。	・適切ではあるが、室内の形により狭く感じてしまうこともあるため、より広く見えるようできる範囲での工事を検討している。
	2	職員の配置数は適切である	4	0	0	・適切な配置人数で運営している。 ・公認心理士・作業療法士・言語聴覚士の専門職が配置されているため、支援者の人数が増え、より手厚い支援を行うことができています。	・今後も専門職の配置を継続し、手厚い支援や専門的観点からのよりよい支援を目指していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	4	・段差や死角があるため監視モニターを活用したり、支援者が視野を広げ全体を見通す工夫をしながら危険を回避している。	・より安全に過ごせるよう段差等の工事の検討を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	・朝のミーティングや月1ミーティング等で振り返りや改善できる機会を設け、支援者に共有している。 ・毎月、責任者会議や事業所打ち合わせで会社本部とも振り返りや評価・改善をし、事業所支援者に周知している。	・今後も事業所運営目標や個人目標等も振り返りながら、会社本部との連携をしながらよりよい支援に繋げていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	・定期的な保護者との面談や電話等での話し合いの中で、ご意見やご要望を伺い、把握している。	・家庭支援として保護者の意向や都合に合わせた対応とともに、利用者の発達や成長に繋がるための話し合いを今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	・毎年、ホームページで公開している。 https://www.pocco.jp/	・今後も継続して行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	0	・問題が発生した時には、第三委員会の外部評価をしていただくようにしている。 ・今年も大きな問題や課題は見られていない。	・今後も継続して行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	・年間社内研修計画のもと、定期的な実施を行い、学校心理士 山内先生より定期的に専門的な研修を受けている。社外での研修も必要に応じて実施している。	・今後も継続して実施しながら、支援者としての資質、技能の向上に努めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・HUGシステムを活用し、定期的なアセスメントを実施している。面談や電話での聞き取りによるニーズや心配事等を把握・分析し、個別支援計画を作成している。	・引き続き行い、ニーズや課題を分析した上で個別支援計画の作成に努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0	・毎年、SM社会生活能力検査を実施している。 ・WISC等の検査結果をご家庭から共有していただき活用している。	・引き続き、SM社会生活能力検査等を使用し活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	・職員全員で毎月、次月の活動プログラムを考案し、事業所内で検討している。 ・活動においての振り返りも行い、利用者にとって社会性を育まれるよりよい活動プログラムの立案を心がけている。	・今後も引き続き行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	・身辺自立・移動・作業・コミュニケーション・集団参加・自己統制の分野を活動内容に取り入れながら、目的や療育効果を共有しながら定期的に検討している。また、利用者からアンケートを集計し、取り組みたい活動を聞き、より関心や意欲を高められるようにしている。	・今後も利用者のニーズを把握し、活動プログラムの立案をしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	0	・事前に計画・立案している。 ・活動目的を明確にし、活動計画を作成しながら支援している。	・今後も課題に合わせたきめ細やかな設定をしていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・毎日、個別支援と集団支援を実施している。 ・利用時間や活動内容に合わせて集団活動の時間や少人数でのグループの工夫をしている。	・今後も個別支援と集団支援を組み合わせながら、社会性の向上が図られるよう計画を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	・活動リーダーを中心に活動内容や時間配分、役割分担の確認をしている。	・今後も継続して行い、よりよい療育や支援を提供できるよう努めていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	0	・当日は送迎があり難しいことから、毎朝のミーティングで前日等の利用者の様子の共有や振り返りを実施している。 ・学校休業日では、時間を設けながら当日に振り返ることもしている。	・今後も引き続き、振り返りや共有体制を確立していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	・HUGシステムを活用して、支援の様子を写真付きの記録を作成している。翌朝のミーティング内で、利用者の成長等の気付きを共有し、支援の見直しや検討を行い改善に努めている。	・個別支援計画に基づいた評価記載を取り入れてるため、事業所内で記録方法を統一し、ご家庭によりわかりやすい記録となるよう改善していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	・HUGシステムを使用し、定期的なモニタリングの実施をしている。保護者様にもモニタリング結果を共有・確認していただき、次の計画作成の要望やニーズを聞かせていただいている。 ・個別支援計画作成において支援者間で担当者会議を行い、作業療法士・公認心理士・言語聴覚士の専門的な指導やアドバイスをいただき、計画の見直しや支援方針の共有理解行っている。	・今後も公認心理士・作業療法士・言語聴覚士の専門的な指導・アドバイスをいただきながら、見直しを行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	0	・職員全員が把握できるようにしている。	・今後も定期的に確認していけるよう心掛けていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0	・児童発達支援管理責任者が主に参加している。利用者の様子や家庭状況等を把握できている職員が参加・同席をし、利用者やご家庭の理解を深めている。	・今後も継続して行いながら、支援者が利用者やご家庭の理解をより深められるよう、また、関係機関との繋がりが図られるように努めていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	0	・常に学校と情報共有や連絡調整を行えるよう連携を図っている。	・学校により保護者様へのみ情報が共有できない場合もあるため、その場合には、保護者様と情報共有ができるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	4	・医療ケアの該当児はいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0	・相談支援員や児童発達支援事業所を通して情報の共有をしている。様々な機関と情報共有したり保護者様からも聞き取りを実施している。	・今後も引き続き、関係機関や保護者様からの情報共有を丁寧に行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	0	・相談支援員や保護者を通して移行する際の情報提供を確認し、共有を行っている。	・今後も円滑な移行ができるよう情報の共有を図っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	0	・定期的な研修に参加し、行政の専門家や顧問心理士に助言をいただけるよう受講している。	・今後も継続して研修に参加し、助言をいただきながらよりよい療育、支援に繋げていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	0	・野外活動や戸外活動時には、交流する機会も見られている。	・コロナ感染が続き実施が難しい状況にあったが、今後地域で開催されているイベント等に参加を検討し、交流できる機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0	0	・甲府市児童通所事業所連絡会の開催があるため参加している。	・今後も引き続き、甲府市児童通所事業所連絡会への参加を通じて、地域の支援者や関係機関との繋がりを図っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	・HUGシステムでの記録や写真を公開したり連絡帳や公式LINE、送迎時等にも共有している。 ・定期的なご家庭との面談や電話で成長や課題の共通理解を図っている。	・今後も継続して面談や電話等での共有を実施し、保護者様からの相談にも随時対応していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	0	0	・保護者様に顧問心理士による専門家の講演会や個別相談会への参加のお知らせをしている。	・今後も引き続き、講演会や個別相談会へ参加していただけるよう努めていく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	・入会時に丁寧に説明をしたり、事業所玄関付近に常に提示し、保護者様にいつでもご覧いただけるようにしている。	・今後も継続して丁寧な説明とともに、定期的に保護者様と確認しながらご理解を深めていただけるようにしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	・保護者様からの相談に丁寧に応じ、適切な対応ができるよう行政、会社本部、顧問心理士と相談し、丁寧に助言できるようにしている。	・今後も継続して必要に応じて丁寧に対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	0	・感染状況を把握しながら、少人数で「POCCOかみいしだカフェ」を開催し、保護者の交流を図る機会を設けている。	・今後は「POCCOかみいしだカフェ」だけでなく、親子で参加できるイベントを企画しながら、気軽に保護者の交流が図られるようにしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	・苦情BOXを設置している。 ・保護者様からのご意見や気になる点等を受けた時には支援者間で共有し、責任者会議等でも報告し適切に対応できるようにしている。	・今後も継続して行いながら、保護者様が相談しやすい雰囲気作りに努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	・HUGシステムや公式LINEを活用し、発信している。	・今後も継続してHUGシステムや公式LINE、インスタでも発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	・入会時にホームページやインスタ等の公開に関する同意書をいただき、顔を隠した写真公開や鍵付きの書庫での個人ファイルの管理等をしている。 ・個人情報の破棄には、シュレッダーを使用することを徹底している。	・今後も継続して、個人情報に十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	・HUGシステムや公式LINE・電話等での常に保護者様と情報交換や情報共有を実施している。	・今後も利用者や保護者様との意思疎通や情報伝達を継続していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	3	・感染症を懸念し、実施していない。	・今後は、事業所内やPOCCOグループの内でも実施するイベントでの招待や地域イベント等への参加を検討していく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0	・各種マニュアルの策定を行い、周知に努めている。	・保護者様へより周知していただけるようモニタリング時等、定期的に説明しご理解いただく機会を作っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	・定期訓練や必要に応じた訓練も実施している。	・今後も継続して定期訓練を実施し、様々なツールを活用して保護者様へ共有していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	・虐待防止マニュアルを定期的に確認し、社内研修では、全支援者が受講し、社外研修への参加もしている。	・今後も継続して社内、社外の研修を受講し、支援者が適切な対応をとれるようにしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0	・虐待防止研修とともに、身体拘束の研修も全支援員が受講している。 ・身体拘束を行う可能性がある場合には、個別支援計画書に対応方法を記載し、ご家庭からの同意をいただいている。 やむを得ず、身体拘束を行った場合には、記録を残し保護者様への丁寧な説明とともにサイン、捺印をいただいている。	・今後も継続して研修を受講し、適切な対応を身に付けていくとともに、保護者様への十分な説明をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0	・入会時に、アレルギーの調査を行い、同意書をいただき、全支援者で共有、確認を徹底し、アレルギー除去を行っている。	・学校で行うアレルギー除去対応をもとに行うため、アレルギー検査結果の提出を毎年お願いしていく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	・毎月、ヒヤリハット事例を作成し、社内会議や月1ミーティング等の事業所会議で共有をし、事故防止に努めている。	・今後も継続して些細な事例でも共有し、危険回避の意識を高め、安心、安全な事業所作りを目指していく。	